

2018 年度 実践セミナー

『1 日で習得！ ～一生使える ImageJ マクロの極意～』

公益社団法人 日本放射線技術学会 近畿支部
学術委員会

「ImageJ の活用と学術研究」

大阪大学大学院医学系研究科 齋藤 茂芳

日本放射線技術学会学術雑誌で 2018 年 10 月から「放射線技術学における ImageJ の活用」として全 14 回の連載がはじまりました。この講座は放射線技術学各分野で実際に ImageJ を利用し、研究をしている方々に執筆をお願いしております。実践的な内容を重視し、一部内容の重なり等はあえて調整せずに掲載しております。会員の皆様には ImageJ を用いて実際に自身の PC で画像処理・解析・評価を行い、更に学会・論文等を利用して多くの方にその情報を伝えていただきたいと思っております。今回の講演では、ImageJ などのフリーソフトや商用のソフトの利用を通して、学術研究を行い、その成果を学会発表や論文発表に繋げるためのノウハウを一緒に学びたいと思います。

「1 日で習得！ 一生使える ImageJ」

大阪大学医学部附属病院 荻原 良太

画像解析ソフトウェアである ImageJ の特長の 1 つはマクロやプラグインといった拡張機能を利用することで独自の画像解析ツールを開発できることです。開発にはプログラミング技術を要しますが、プラグインと比較して、マクロはプログラミング手法が厳密ではなく簡素な構成によりツール作成が可能であるためプログラミング初心者にとって易しい手段と言えます。本セミナーの目的はプログラミング実習を通じて ImageJ マクロによる独自ツールの開発および有用なプラグインの活用法を習得することです。実習では関心領域内の画像情報の抽出方法から基礎的な画像解析まで、臨床や学術研究で取り扱うことの多い話題に触れていきます。プログラミングの基礎から解説を行うためプログラミング初心者の方も安心してご参加いただけます。ImageJ で独自ツールを開発してみたい！ImageJ を更に使いこなしたい！というような熱い思いを抱く多くの方々のご参加をお待ちしています。